

基本場と擾乱から見た大気-海洋-陸面の相互作用

更新日：2018年08月07日

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 共同利用研究集会

日 時：平成30年8月27日（月）10:00～17:20
8月28日（火）9:00～11:30
場 所：東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター
〒028-1102 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜1-19-8
TEL 0193-42-5611
研究代表者：木下 武也（海洋研究開発機構）*、
田中 潔（東京大学大気海洋研究所）
*連絡先 TEL：046-867-9464、FAX：046-867-9255
e-mail：t-kinoshita@jamstec.go.jp ※「◎」は「@」に変換して下さい

プログラム

(**：特別講演、*：招待講演)

8月27日（月）

10:00 - 10:05 趣旨説明・事務連絡

セッション1（座長：西川 はつみ）

- 10:05 - 10:23 野坂 真也（気象庁 気象研究所）
海面水温の時空間解像度が大気に与える影響
- 10:23 - 10:41 高橋 麗（筑波大学 大学院生命環境科学研究科）
平成27年9月関東・東北豪雨の事例解析—形成メカニズムとエアロゾル—
- 10:41 - 10:59 永田 桃子（三重大学 大学院生物資源学研究科）
東シベリアの森林の消失が北太平洋上の大気循環に及ぼす影響
- 10:59 - 11:17 直井 萌香（筑波大学 大学院生命環境科学研究科）
ENSOの季節進行に伴う夏季北太平洋Atmospheric River発生頻度の変調
- 11:17 - 11:35 川瀬 宏明（気象庁 気象研究所）
地球温暖化が日本の豪雨に及ぼす影響～d4PDF過去実験と非温暖化実験の比較から～
- 11:35 - 11:53 佐藤 尚毅（東京学芸大学）
MJOの位相や振幅が日本の降水や降雪に与える影響
- 11:53 - 13:00 昼食休憩

セッション2（座長：春日 悟）

- 13:00 - 13:18 本田 明治（新潟大学 大学院自然科学研究科）
2017/18冬季に大雪をもたらした総観場・大気循環場の特徴
- 13:18 - 13:38 *春日 悟（新潟大学 大学院自然科学研究科）
寒冷渦・竜巻間の階層構造～コンボジット解析～
- 13:38 - 13:56 関 陽平（三重大学 大学院生物資源学研究科）
最低気温前日差から見た北海道の際立った気候

- 13:56 - 14:14 益本 大地 (筑波大学 生命環境学群地球学類)
オホーシク海高気圧の形成要因～熱帯と中高緯度からの視点～
- 14:14 - 14:32 太田 圭祐 (三重大学 生物資源学部)
2018年冬季極東域に到来した寒波の持続性
- 14:32 - 14:50 松岡 優輝 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
三重県の降雪の局地性を強化させる条件
- 14:50 - 15:10 *田村 健太 (北海道大学大学院 環境科学院 環境起学専攻)
北海道西岸沖におけるPolar Low発生時の環境場の特徴と山脈の効果
- 15:10 - 15:30 休憩

セッション3 (座長: 星 一平)

- 15:30 - 15:48 山下 陽介 (海洋研究開発機構)
南半球の冬季から初夏におけるQBOの極渦への影響の解析
- 15:48 - 16:08 *星 一平 (新潟大学 大学院自然科学研究科)
北極域海水変動と極渦変動の関係のQBO位相依存性
- 16:08 - 16:26 石田 悠貴 (新潟大学 大学院自然科学研究科)
渦度と安定度からみたENSOに伴う対流圏界面変動
- 16:26 - 16:44 四十物 勇佑 (新潟大学 大学院自然科学研究科)
冬季北半球におけるオゾンの変動と大気循環場との関係
- 16:44 - 17:02 木下 武也 (海洋研究開発機構)
YMC-Sumatra2017集中観測における重力波活動と背景場の関係について
- 17:02 - 17:20 立花 義裕 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
TBD
- 17:20 - 17:30 近藤 早咲、中西 友恵 (三重大学)
自己紹介, 及び今後の研究計画
- 18:30 - 懇親会

8月28日 (火)

セッション4 (座長: 田村 健太)

- 09:00 - 09:18 杉原 直樹 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
ソマリジェットが及ぼす両半球間の遠隔影響
- 09:18 - 09:38 *山口 颯太 (新潟大学 大学院自然科学研究科)
秋季北半球における南北両半球間テレコネクション
- 09:38 - 09:56 西井 和晃 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
中緯度海洋前線上の局所的大気子午面循環
- 09:56 - 10:14 上田 有佑 (立正大学 大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻)
日本における海上竜巻の発生の特徴
- 10:14 - 10:32 佐藤 正樹 (東京大学 大気海洋研究所)
全球非静力学モデルNICAMによる上層雲の変化と温暖化応答
- 10:32 - 10:40 休憩
- 10:40 - 11:05 **新野 宏 (東京大学 大気海洋研究所)
竜巻に関わる階層構造: 低気圧の環境場から竜巻の内部構造まで

11:05 - 11:30 **岩崎 俊樹 (東北大学)
温位を用いた冬季北半球の寒気質量/寒気流出解析

#講演時間：一般講演(無印)18分間, 招待講演(*)20分間, 特別講演(**)25分